令和５年６月１４日（水）神戸新聞

浜坂高生、台湾の生徒と交流

姉妹校の東港高級中から初訪問

身ぶり交え英語で対話

「坊主めくり」を体験する東港高級中の生徒（左）＝浜坂高校

新温泉

台湾・東港高級中学校の生徒が、姉妹校の浜坂高校（新温泉町芦屋）を初めて訪れ、授業や部活動を通じて親睦を深めた。

東港高級中は台湾南部・屏東県にあり、２０１９年に浜坂高と姉妹校提携を結んだ。同町が前年に浜坂高生を東港高級中に派遣し、その後も相互交流を続けようと姉妹校に。しかし、新型コロナウイルス禍による渡航制限で、東港高級中生が浜坂高を訪問する機会はなかったという。

来訪した生徒は、日本の中学3年から高校2年にあたる20人。古典の授業では身ぶりと英語で対話しながら、日本の伝統的な遊びである「坊主めくり」を体験。部活動にも参加し、卓球部では両校の生徒がラリーの応酬を繰り広げ、ダンス部では韓国のポピュラー音楽に合わせて一緒に踊った。

浜坂高3年の西川俊太郎さん(17)は「英語が伝わるか不安だったけど、身ぶり手ぶりも使って意思疎通ができて少し自信になった」と話した。（斎藤　誉）